

令和5年度第1回桑名市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日時・場所	令和5年7月26日（水）午前10時～ 多度地区市民センター2階201会議室
出席者	委員：8名 事務局：11名
議事次第	1. 開会挨拶 2. 議事 (1) 令和4年度決算の見通しについて (2) 桑名市上下水道事業経営戦略について（現状分析） (3) その他 3. 閉会挨拶
要旨	<p>1. 開会挨拶</p> <p>開会后、上下水道部長より挨拶</p> <p>2 (1) 令和4年度決算の見通しについて</p> <p>事務局より水道事業会計の決算について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益的収支の黒字が減った要因として動力費が上がったということだが、昨年度と比べて額的にパーセント的にどれだけ上がったのか。 ⇒令和3年度が1億5,000万円程で、割合が6%程で令和4年度が約1億円増加して、割合としては3%程上がっている。 ・営業収支比率が悪くなったのは電気料金が上がったことによるものことだが、もし上がってなければどうなっていたのか。 ⇒令和3年度と令和4年度を比較して、一番大きな要因が動力費でそれ以外大きく変わったものはない。今後は動力費だけでなく燃料費も上がってきているので、委託料や工事関係費用も増加する可能性があると考えている。 ・管路更新率について、経営戦略での設定はどれくらいか。令和3年度の更新率は0.87%でこの時点で令和2年度より低かったが、令和2年度と令和4年度の比較ではどうなっているか。 ⇒経営戦略では1%以上である。令和2年度は1.58%だが、この年度は下水道事業のコストキャップによる下水道整備と一緒に水道管の更新を行ったことにより、高い数字となっている。 ・給水人口は減って給水戸数は増えて有収水量は減ると、水を使う人が減っているということについて、どういう分析をされているのか。 ⇒給水人口については桑名市の人口が減少傾向に伴って減っている。給水戸数が増えているのは一人暮らしや核家族世帯が急激に増えていると認識している。有収水量が減っているのは、電気料金を含め日常生活上、値上げが結構多かったことから、節電意識とともに節水の意識なども高まったのではないかと考えるとともに、コロナがまだ影響のある年なのでコロナの関係で人の動きも少なくその分需要が減っていることもあると思うが、その辺は分析しきれていない。

・管路経年化率が 33.34%から 34.08%と増加しているが、有収率は 84.01%から 81.78%と減少しているが、この数字は悪化しているということなのか。
⇒管路の経年化率が悪化している中、漏水が増え有収率が悪化しているという認識を持っている。

事務局より下水道事業会計の決算の概要について説明

・資本的収支について、企業債収入として約 13 億円、企業債償還金が約 23 億円となっているが、これだけ企業債を発行すると来年度の償還が増えるということか。構造的にどうなっているのか。

⇒企業債は主に 5 年間据え置きで、その後元金の償還が始まるので来年度は 5 年前の償還が始まる。今下水道事業は多額の費用を掛けて普及に努めているため、会計上やり繰りは大変である。

・企業債は誰が買っているのか

⇒企業債で一番多いのが機構債で、地方公共団体金融機構という、全地方公共団体の出資の下、法律に基づき設立された地方共同法人から借りている。債券の購入者は把握していない。

・宅内引き込み工事について、値段は 10 年前と比較すると上がっていると思うが、受益者負担金は 10 年前と変わっているか。

⇒単価的には変わっていない。面積に応じて負担金を掛けており、個人については上限を決めている。

・下水道工事の 1 年間の予算はどれくらいですか

⇒大体 10 億円くらいを目途にやっているのが現状である。

事務局より上下水道事業経営戦略の現状分析について説明

・人口の推移について、今の戦略の推計の人口と実績がかなり離れている。将来推計が 2018 年から推計されており、当時はどんなふうに人口推計をされたのか。

⇒水道基本計画の人口を補正する形をとっている。水道基本計画の数値の根拠は、コーホート要因法の形で推計しているが、合計特殊出生率については現在失効している桑名市人口ビジョンから引用しており、当時は急激に人口が減少すると予測できなかったため、高めに設定されていたものを使用している。

・今後は戦略を立てるときは上下水道部で推計を作成することになるのか。

⇒市の方で統一の人口推計は出されていないので、今後は市の方と協議はするが、上下水道部で作成する形となる。

・施設の老朽化を抑えるためには、水道料金をもうちょっと上げていかないと抑えられないと考えていいのか。

⇒料金改定については、現在分析中で次の審議会の時にある程度示せると思っているが、経営状況については、電気代の高騰や人件費が上がってきていることなどこの傾向が続くと、今後も料金改定は必要となってくると考えている。

(2) その他

事務局より、今後の審議会の予定について連絡

3. 閉会挨拶

上下水道部長より挨拶

(以上)